

# 2024年度役員紹介



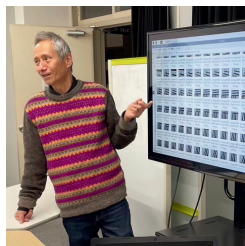
副会長 鶴田麻希

今や予測不能な時代となり、個々に求められるスキルや経験は高くなる一方です。  
微力ながらより良い未来のお手伝いをさせていただきます。



副会長 仙石直子

現在、研究科で学んだEvidence Based Trainingを礎に「活力ある若い」を目指した健康づくり・体力づくりの仕事に携わっています。役員になり、長いようであつという間の8年でしたが今年度で退任いたします。皆様に感謝申し上げます。



理事 小林敏樹

後期博士課程で渡邊研究室に在籍しています。今年69才になりました。同窓会活動には老害の典型だと思っていますが、若い人の知恵を集めたい気持ちでいます。よろしくお願いします。



会計 木村恵子

湯川研修了後、製薬会社の研究技術職。  
転職を経て現在は麦酒会社にて品質保証業務に従事。  
人生いろいろあるけど何とかやるねを日々実感中。我が子は最強可愛い最愛激ラブ。



理事 関澤琴野

4月から学部4年生です。約1年間、役員として瑞滝会に携われたことを嬉しく思います。これからも行事に参加していろんな方と仲良くなりたいです。残りの学生生活、悔いのないように楽しみたいです！



理事 柴田万莉菜

理学部広報サークルのサー長。新しいことを始めるのが好きだが、未だに自分のキャバを理解しておらず周りから心配される。今年の目標は「コーヒーに合うお菓子作り」だが、味見で気がつけばほとんど食べてしまわないか心配である。

## 令和7年度 瑞滝会 総会・懇親会について

今年度は令和元年以来6年ぶりに総会を対面で開催し、学年代表委員会の設立についてご審議いただく予定です。この総会に対して全学の交流会から20万円の補助が出ており、学生の参加費補助に充てることとなりました。ぜひこの機会にご参加いただき、久しぶりに顔を合わせながら近況を語らいましょう。

開催日: 令和7(2025)年6月28日(土)

開催時間: 13:30 受付 14:00 開始 16:00 終了

開催場所: 名古屋クレストンホテル (栄パルコ9階)

会費: 修了生・卒業生・教員 6000円、大学院生・学部生 2000円、学部の新入生 1000円

申し込み方法は後日HPにてご案内します。

懇親会へのみの参加も大歓迎です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 編集後記

はじめに、寄稿して下さった皆様、並びにご協力下さった役員の皆様にお礼申し上げます。皆様のおかげで内容盛りだくさんの会報誌になったのではないかと考えております。編集をするにあたり、今年の会報誌は、昨年のもものと比べて皆様にお知らせすべき内容が増えていることに気付き、瑞滝会の広がりを感じる事が出来ました。2025年度も、同窓会員の皆様が集う機会を沢山企画しております。学部・研究科の大きなイベントとして、田辺通キャンパスへの移転も確実に近づいてきました。今まで過ごしたキャンパスとの別れに寂しさを感じる一方で、新しいキャンパスでの学生生活に胸を膨らませています。私は5期生ですが、2025年度に学部の最高学年になります。8期生を迎えることを嬉しく思うとともに、研究室にも学部3年生が入ってきてくれることを心待ちにしている、身が引き締まる思いです。今後とも同窓会をよろしくお願いいたします。

(関澤琴野)

## 名古屋市立大学 理学同窓会



会報誌  
2025  
MARCH

令和9年4月に竣工予定の新校舎（左）と新研究棟（右）

## 同窓会会長からの挨拶

皆様、こんにちは。この度、瑞滝会会長を務めさせていただくことになりました。私は2014年度にシステム自然科学研究科博士前期課程に入学し、高石教授のもとで研究を行いました。現在は名古屋市立大学医学研究推進課長として勤務しております。今年度よりこのような大変光栄な役割を担うこととなり、誠に感謝しております。

さて、瑞滝会は、2000年度に設立されたシステム自然科学研究科の修了生による同窓会が起源となり、その発展を見守り続けてまいりました。2018年度には総合生命理学部が誕生し、多くの優秀な人材がこの学び舎から巣立っていきました。2024年度において、同窓会員数は588名に達し、これは皆様のご支援と本学部・研究科の発展の賜物であると感じております。

さらに、本学部・研究科における大きな節目として、2027年度には田辺通キャンパスに新校舎が完成し、滝子キャンパスからの移転が予定されています。同時に、1学年の学生定員が43名から90名に倍増し、学部名称も総合生命理学部から理理学部へと改められ、本学部・研究科にとっての新しい時代が幕を開けようとしています。

これからも、瑞滝会は皆様との絆を深め、卒業生・修了生としての誇りを持ちながら、後輩たちの支援や本学部・研究科の発展に貢献していくことを目指してまいります。どうぞ、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



名古屋市立大学 瑞滝会 会長  
飯田 博之

# 活動報告

## バーベキュー「今年もなんやかんや開催できました」

5月18日（土）に、新一年生を迎えるバーベキューを行いました。一年生同士の交流はもちろん、先輩後輩、先生との縦のつながりも深めることを目的としており、オリターが企画します。今回は、過去最大人数である約90人が参加しました。

3月から会場探しを始め、ネームタグや名簿を作ったり業者と打ち合わせを重ねたりしました。実は、予想以上の人が参加してくださったので、当初予定していた場所が使えないことに気づきました（しかも直前に…）。せっくなので裏話を。会場を直前で変更できたのは良かったのですが、当日朝早く会場に赴き場所取りをしなければいけませんでした。私の早起きが90人分の予定を左右するんだ、寝坊するわけにはいかない…と言う気持ちでいっぱいでした。少しでも二度寝しましたが。学生や先生からは、「今までで一番盛り上がって良かった」「新たに仲良くなった子がいて嬉しかった」という声をいただきました。私たちが一年生だった時に先輩方が親睦の場所を設けてくださった感謝を、今年は私たちの代が還元できたのではないかと思います。（柴田 万莉菜）



## 懇親会開催

6月8日(土)、名古屋市立大学桜山キャンパス内「サクラサイドテラス」にて懇親会を開催し、現役学生と卒業生・修了生が一堂に会しました。また、特別会員として総合生命理学部の先生方にもご出席をいただくことができました。ご多用の中、誠にありがとうございました。



今年も、昨年好評をいただいたビンゴ大会を行いました。やはり景品選びを巡って大いに盛り上がりしました。ビンゴになった方から順に自己紹介や近況報告をいただきました。先生方、卒業生・修了生や現役学生の皆さんからのお話は大変興味深く、会員同士の距離がぐっと縮まりました。役員一同、改めて懇親会開催の意義に気付かされました。

2時間余りの大変温かい懇親会となりました。ご出席いただきました皆様に感謝申し上げます。今年参加できなかった会員の皆様、来年はぜひご参加ください。（仙石 直子）

## 新たな歩み「名市大理学部広報サークル」

名市大理学部広報サークルは、2024年4月から本格的に活動を始めたサークルです。このサークルは、「理学そのものの楽しさを伝える」「名市大理学部の良さを知ってもらう」「大学の研究と高校生を繋ぐ」を理念としています。高校生の時感じた、大学選びや研究の難しさ・理学の魅力に気づいた時の感動に加えて、ネットには載っていない名市大理学部ならではの良さを組み合わせたら、今の高校生にとってためになる活動ができるのではないかと思います。今年度は、行事活動として市大祭、オープンキャンパスの運営の補助や学生トークライブの進行を行いました。また、常時活動では、インスタグラムの投稿をしています。まだまだ活動の途上ではありますが、瑞澗会や先生方の支援のおかげで新たな歩みを進めることができました。これからも、私たちの活動を見守ってくださると嬉しいです。

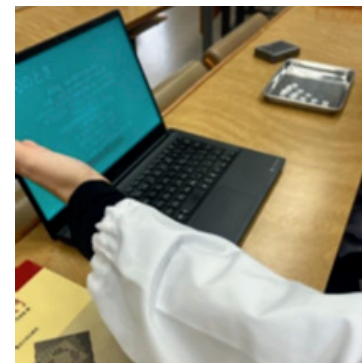
（柴田 万莉菜）



@NCU\_SCIENCEINFO

## 市大祭「当日の朝までめちゃくちゃ不安でした」

11月9、10日に市大祭が行われました。理学部広報サークルは3つのブースを出店しました。市大祭に来てくださる中高生に、理学の面白さとその先に触れてもらおうという狙いでした。夏休みからぼちぼち準備を始め、何度もミーティングを重ねました。初めてのことばかりで、いつまでに何を準備すべきなのかがわからず、戸惑いや衝突もありました。当日の朝まで緊張していたのを今でも覚えています。誰も来なかったらどうしよう…という不安でいっぱいでした。ポップを持って練り歩いている時「これやりたい！」と笑顔で言ってくれた時、「この内容ちょうど昨日やったばかりなんです」と喜んでくれた時、完成した作品をうっとり眺めていた時…。活動の一步を踏み出して良かったと感じる瞬間が沢山ありました。（柴田 万莉菜）



## 着任された先生の言葉

今年度より総合生命理学部・理学研究科に着任しました、秦和弘です。専門は天文学や宇宙の観測で、昨年度まで岩手県の観測所に8年ほど勤務していました。実は学生時代は4年ほど名古屋で過ごしたので、久々に戻ってきたわけですが、夏場の暑さには参りました。以前もこんなに暑かったのだろうか、そんな名古屋リハビリをしながら少しずつ大学初年度にも慣れてきたところです。総合生命理学部に着任してからこれまで感じたことは沢山ありますが、最も印象的だったことは、（噂には聞いていましたが）学生も教員も全員名前と顔が記憶できそうな距離感であることです。これは研究所生活が長かった自分にはとても重要な要素でしたので、すごく気に入っています。学生の皆さんと普段から他愛もない話、研究の話が気楽にできる環境を大切にしていきたいです。名市大の学生さんは全体的に真面目でしっかりしたタイプの人が多い印象です。逆にいえば、そこにもう少し（良い意味で）不真面目さというか、あえてレールを踏み外すくらいの冒険心や私の強さが加わると、将来大活躍しそうな輝きの片鱗が垣間見えており、今後が楽しみです。私自身も学生・教員の皆さまと切磋琢磨しながら一緒に成長していきたいと思っています。



秦 和弘 准教授  
はだ

# 学生から

## 総合生命理学部で過ごした1年を振り返って

入学前は、理学に対するイメージが全く湧かず、「何を学ぶのか」、「自分に合っているのか」と不安を抱いていました。しかし、入学して講義や実験を通じて学ぶ中で、その魅力を実感できるようになりました。高校までに学んだ現象をより深く理解できるようになり、疑問に自分で答えを見つけていく過程の楽しさを知りました。

特に理学部らしさを感じられる機会は、定期的に開催される「理学サロン」です。そこでは、大学院生や先生方から研究について直接お話を伺うことができます。参加する度に大きな刺激を受け、自分もいつかは同じ場所に立ちたいという、希望が膨らみます。

また、先生方との距離が近く、質問しやすい環境が整っている点も総合生命理学部ならではの良さだと思います。

しかし、理学部の魅力は実際に身を置かないとわからない、言葉では伝えきれないことも多く、その魅力を日々、実感しています。

私は理学生としてスタートしたばかりですが、社会に貢献できる研究者を目指し、がんばりたいと思います。



学部1年 深瀬 珠莉

## 奨学生の声

この度はこのような名誉ある賞にご選考頂き感謝申し上げます。この総合生命理学部は、自分の学びたいことに全力で向き合い、理学の面白さを追求するのにこの上ない環境であると思います。これも瑞澹会の皆様、先生方の支えあってこそだということを忘れず、今後も同級生と切磋琢磨し合い、日々研鑽に励んでまいります。

学部2年 中井 遼太郎

この度は、瑞澹会奨学生にご選出いただき、心より感謝申し上げます。

現在、3年生となり、後期からは研究室に配属されました。研究の世界に一步足を踏み入れ、不慣れながらも研究の楽しさを少しずつ実感しております。これまでの3年間で振り返ると、総合生命理学部で過ごす毎日はとても居心地がよく、一緒に切磋琢磨できる仲間にも出逢えました。このような日々を過ごせているのは周りの皆様からの温かいご支援に支えられているからだと思います。やりたいことを存分にできるこの恵まれた環境に感謝の気持ちを忘れることなく、より一層努力を重ねてまいります。最後になりましたが、瑞澹会の皆様へ改めて深く御礼申し上げます。

学部3年 河野 晶葉

この度は奨学生に選出いただき、誠にありがとうございました。この総合生命理学部で過ごした4年間は学問の面でも生活の面でも自己成長に繋がる多様な機会に恵まれ、素敵な縁を感じられるものでした。このような魅力的な環境で得られたすべての学びに感謝しつつ、今後に生かしていけるようこの先も精進してまいります。最後に、瑞澹会の皆様はこの場を借りてもう一度、感謝申し上げます。

学部4年 杉浦 仁美

左から順に  
中井遼太郎さん  
河野晶葉さん  
杉浦仁美さん  
瑞澹会会長 飯田博之

## 修了生の声

私は2018年に名市大総合生命理学部の1期生として入学し、学士・修士の6年間で理学部で過ごしました。新設学部での生活は、先生方にとっても初めてのことが多く不安もありましたが、新しいことへ挑戦する楽しさや大切さを実感できました。また、気の合う同期がいて、気軽に先生方と相談できる恵まれた環境で、充実した毎日を過ごしていたと感じます。



修士2年 三嶋 奈々

3年生後半からは中村先生の研究室に所属し、修士では機械学習の研究をしていました。そこでプログラミングの基礎を身につけ、他人が書いたプログラムを読んで書きかえる、最新のIT技術に関心を持って学ぶ、といった経験を積むことができました。修了後、2024年4月より日本生命保険相互会社に就職し、保険会社の中で働くIT人財として社会人デビューしました。今はニッセイ情報テクノロジーというシステム子会社に出向しシステム開発を行っており、研究を通じて得た経験が直接役立つ仕事に就くことが出来たと思います。

新しいことに挑戦する姿勢、同期や先生方との繋がり、研究活動の経験など、名市大総合生命理学部で得たものを活かし、後輩や先生方に誇れる社会人になれるよう、今後も精進して参ります。

## 渡邊研究室クラブ

渡邊研究室クラブは、6号館で毎年8月に開催されている渡邊裕司教授の「中学生向けプログラミング教室」が元になっています。

毎回100名を超える応募がある人気授業のアンケートには、アフターフォローの要望が多く寄せられ、それを受けて「渡邊研究室クラブ親子python教室」が始まりました。

今年で4年目を迎えた授業の運営は、渡邊研究室の院生や学部生が中心となり、pythonの基本学習やAI搭載のオモチャの戦車を自動走行させたり、今年度は特に、総務省の主催する「論文コンペティション」に高校生になった2名が応募、参加賞を戴きました。

保護者の会も活発に活動していて、中学生を中心にその御家族、スタッフ合わせて約30名が月に1度楽しく学んでいます。

同窓会の皆様のご参加を心待ちにしています。QRコードから是非アクセスしてください。



←渡邊研究室クラブが気になった方はこちらから



←応募はこちらから  
QRコードを読み込んでいただいた後、“メール作成画面はこちら”を押していただき、応募メールの送信をお願いいたします。